



古府っ子

令和5年度 8・9月号
高岡市立古府小学校
学校だより
令和5年8月28日

チャレンジする2学期に

校長 矢田 憲和

大変厳しい暑さの続いた夏休みでした。予定していたプール開放は、熱中症のリスクがあり、実施することができませんでした。水泳が上手になりたい、友達とプールで遊びたいと思っていた子供たちにとっては、大変残念なことだったでしょう。

5年生と6年生は7月24日（月）～25日（火）、宿泊学習に行きました。二日目、立山連峰の浄土山（標高 2,831m）に登りました。空気が薄く、はあはあと息が切れます。ごつごつした岩や砂利の道が続きます。時には雪渓もあり、足を滑らせないように通らなくてははいけません。急な上り坂が続く、手を使いながら登るところもあります。「あとどれだけ?」「暑い」「休みたい」「こわい」などと口々に言う子供たち。教員も「頑張れ」「あと5分ほど歩いたら休憩」と励ましたり、なだめすかしたりすること約3時間。参加者全員が登頂できました。「ヤッホー!」多くの子供たちが、遠くに見える山々に向かって、笑顔で大きな声で叫びます。体も心もきつかったときを友達と力を合わせて乗り越えた充実感や達成感が精一杯の声や、仕草や、表情にあふれていました。教員も古府っ子のたくましさに関心するとともに、無事に引率できた安ど感や子供たちの頑張りに喜びを味わいました。この日、私のスマートフォンでは歩数 17,328 歩、移動距離 12.56 km、上った階数 52 階となっていました。

2学期の始業式では、「艱難（かんなん）、汝（なんじ）を玉にす」という言葉を子供たちに紹介しました。苦労や困難を堪えてこそ立派な人間になれるという意味です。学校にはチャレンジする機会がたくさんあります。授業で課題に粘り強く取り組む、学習発表会に向けて、根気強く作品をつくる、ステージ発表の練習をする、持久走記録会で目標達成のために努力する、委員会や係活動で責任を果たす、などです。できるかなあと自信がもてず不安なとき、努力してもうまくいかないときもあるかもしれません。それを乗り越えたところに成長や達成感があり、自信や自己肯定感が育まれ、次のチャレンジに向かう意欲が生まれます。日々の授業や様々な学校行事等を通して、子供たちが互いを尊重し、協働してよりよい生活を築いたり、自分のよさを認識して自己実現を図ったりできるよう、教員も授業改善や学校生活の充実と共にチャレンジしていきたいと思えます。2学期もご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



古府っ子フォトギャラリー 日々の様子は古府小HPをご覧ください。

古府小HP→



7/24 5・6年生は立山へ宿泊学習に出發。ライチョウの親子にも会えました。



7/25 宿泊学習二日目。好天に恵まれました。まずは室堂から一の越へ。



参加児童全員が元気に目的地の浄土山に到着しました。喜びの「ヤッホー!」



7/30 3～6年生の希望した児童が、伏木港まつりの町流しに参加しました。



8/20 保護者、児童、体育振興会の方で、美化活動をしました。ありがとうございました。



8/21 高岡イグリッシュセミナーに6年生代表が参加し、他校の児童、生徒と英語で交流しました。